



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中戸川 稔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田近 強 TEL 03-6636-9502
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	60,220	23.9	3,900	58.5	4,614	17.9	4,041	68.2
2026年3月期第1四半期	48,592	2.0	2,460	7.2	3,915	25.1	2,403	6.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 15,399百万円（347.0％） 2026年3月期第1四半期 3,444百万円（60.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	124.62	—
2026年3月期第1四半期	70.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	324,973	167,686	49.5
2026年3月期	272,376	150,201	54.1

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 160,905百万円 2026年3月期 147,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	126,200	29.3	5,600	33.1	6,300	0.0	8,300	69.2	255.93
通期	259,000	22.7	10,000	△11.5	9,700	△29.4	14,500	13.5	447.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社（社名）（株）アーステクニカ、（株）アーステクニカM&S

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	32,545,568株	2026年3月期	32,545,568株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	114,712株	2026年3月期	113,815株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	32,431,156株	2026年3月期1Q	34,224,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
2027年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	48,592	60,220	11,627
営業利益（百万円）	2,460	3,900	1,439
経常利益（百万円）	3,915	4,614	699
親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円）	2,403	4,041	1,638

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から同年6月30日まで）の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策の動向や中東地域における緊張の高まりなどを背景に、製造業を中心とした生産活動への影響が懸念される状況が続きました。また、資源価格や為替動向への影響も懸念される中、事業環境の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、602億20百万円（対前年同期116億27百万円増）、営業利益は、39億0百万円（対前年同期14億39百万円増）となりました。産業機械部門は減収減益、ロックドリル部門は増収減益、ユニック部門は増収増益となり、新たにアーステクニカ部門を加えた機械事業全体では増収増益となりました。素材事業では、金属部門、電子部門および化成品部門のいずれも増収増益となりました。また、不動産事業では増収増益となりました。営業外収益として、持分法による投資利益7億10百万円などを計上した結果、経常利益は、46億14百万円（対前年同期6億99百万円増）となりました。税金費用4億74百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、40億41百万円（対前年同期16億38百万円増）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配賦方法を変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦方法に基づき作成した数値を記載しております。

〔産業機械〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	4,233	3,445	△787
営業利益（百万円）	336	162	△173

産業機械部門の売上高は、34億45百万円（対前年同期7億87百万円減）、営業利益は1億62百万円（対前年同期1億73百万円減）となりました。コントラクタ事業は、橋梁工事の出来高の減少により、また、流体機械事業は、ポンププラントの売上高の減少により、それぞれ減収となりました。

〔ロックドリル〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	7,924	9,306	1,382
営業利益（百万円）	764	602	△162

ロックドリル部門の売上高は、93億6百万円（対前年同期13億82百万円増）、営業利益は、6億2百万円（対前年同期1億62百万円減）となりました。国内については、整備事業の売上高および油圧クローラドリルの出荷が増加したものの、トンネルドリルジャンボ本体および油圧ブレーカの出荷が減少したことにより、国内全体では減収となりました。一方、海外については、設備投資が堅調な北米向けの油圧クローラドリルおよび油圧ブレーカの出荷増などにより、増収となりました。営業利益については、国内の減収に加え、連結調整における在庫の未実現利益消去額が増加したことにより、減益となりました。

〔ユニック〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	6,781	7,091	309
営業利益（百万円）	150	495	344

ユニック部門の売上高は、70億91百万円（対前年同期3億9百万円増）、営業利益は、4億95百万円（対前年同期3億44百万円増）となりました。国内については、ユニッククレーンの出荷は前年同期並みであったものの、製品構成の変化により、増収となりました。海外については、東南アジア向けのユニッククレーンおよび北米向けのミニ・クローラクレーンの出荷増などにより、増収となりました。

〔アーステクニカ〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	—	4,617	4,617
営業利益（百万円）	—	153	153

株式会社アーステクニカおよび株式会社アーステクニカM&Sを連結子会社化し、アーステクニカ部門を新設しております。売上高は、46億17百万円、営業利益は、1億53百万円となりました。

《機械事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	18,939	24,460	5,521
営業利益（百万円）	1,251	1,413	162

産業機械、ロックドリル、ユニックおよびアーステクニカの機械事業の合計売上高は、244億60百万円（対前年同期55億21百万円増）、営業利益は、14億13百万円（対前年同期1億62百万円増）となりました。

〔金 属〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	23,908	28,541	4,632
営業利益（百万円）	864	1,719	855

金属部門の売上高は、285億41百万円（対前年同期46億32百万円増）、営業利益は、17億19百万円（対前年同期8億55百万円増）となりました。電気銅の海外相場は、12,270.00米ドル/トンで始まり、中国の硫酸輸出停止による供給懸念や米国の銅地金に対する関税導入の可能性などを背景に上昇し、5月半ばには一時14,000米ドル/トン台を付けました。その後は、米国の利上げ観測によるドル高やインフレ懸念の高まりから軟調に推移し、期末には13,341.00米ドル/トンとなりました。電気銅の生産量は9,037トン（対前年同期1,949トン減）となり、販売数量も減少しましたが、海外相場の上昇と円安により、増収となりました。

〔電 子〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	1,514	2,036	521
営業利益（百万円）	22	264	242

電子部門の売上高は、20億36百万円（対前年同期5億21百万円増）、営業利益は、2億64百万円（対前年同期2億42百万円増）となりました。高純度金属ヒ素は、MBE装置向けチャンクおよびロッドの海外市場での需要増加により、増収となりました。窒化アルミセラミックスは、半導体製造装置向け部品の需要拡大により、増収となりました。

〔化成品〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	2,637	3,504	866
営業利益（百万円）	192	495	303

化成品部門の売上高は、35億4百万円（対前年同期8億66百万円増）、営業利益は、4億95百万円（対前年同期3億3百万円増）となりました。酸化銅は、AIサーバー市場を中心としたパッケージ基板向けの需要拡大に加え、銅価の上昇により販売単価が上昇し、増収となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が好調を維持したことに加え、銅価の上昇と価格改定により販売単価が上昇し、増収となりました。

《素材事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	28,061	34,081	6,020
営業利益（百万円）	1,078	2,480	1,401

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、340億81百万円（対前年同期60億20百万円増）、営業利益は、24億80百万円（対前年同期14億1百万円増）となりました。

〔不動産〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	552	641	88
営業利益（百万円）	203	280	76

不動産事業の売上高は、6億41百万円（対前年同期88百万円増）、営業利益は、2億80百万円（対前年同期76百万円増）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）は、商業施設の売上げに応じて発生する変動賃料の増加により、増収となりました。

〔その他〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	1,039	1,036	△3
営業利益（百万円）	88	58	△29

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業などを行っております。売上高は、10億36百万円（対前年同期3百万円減）、営業利益は、58百万円（対前年同期29百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産（百万円）	272,376	324,973	52,597
負債（百万円）	122,174	157,287	35,112
（うち有利子負債 （百万円））	57,323	79,152	21,829
純資産（百万円）	150,201	167,686	17,484
自己資本比率（%）	54.1	49.5	△4.6

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、対前連結会計年度末525億97百万円増の3,249億73百万円となりました。これは主として、新たにアーステクニカ部門が加わったことにより、受取手形、売掛金及び契約資産、仕掛品、有形固定資産などが増加したこと、金属部門を中心に原材料及び貯蔵品が増加したこと、また、上場株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。有利子負債は、対前連結会計年度末218億29百万円増の791億52百万円となりました。純資産は、対前連結会計年度末174億84百万円増の1,676億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回（2026年5月12日）発表の業績予想と比較し、第2四半期（中間期）、通期ともに上方修正しております。

売上高および営業利益については、全体として前回予想を上回る見込みです。金属部門では、当第1四半期連結累計期間における銅価上昇に伴う価格差益の計上を主因として、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みです。また、電子部門、化成品部門および不動産事業についても、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みです。

さらに、8月12日発表の「当社連結子会社による固定資産の譲渡完了および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、PKC Properties Pty. Ltd. が保有していたオーストラリア旧製錬所跡地の譲渡が完了したことに伴い、固定資産売却益約60億円を特別利益に計上する見込みです。また、政策保有株式の一部売却による投資有価証券売却益の計上も見込まれることから、親会社株主に帰属する純利益についても前回予想を大幅に上回る見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,046	20,188
受取手形、売掛金及び契約資産	24,711	31,459
商品及び製品	23,401	24,616
仕掛品	12,075	14,432
原材料及び貯蔵品	16,959	31,998
その他	17,085	18,869
貸倒引当金	△11	△18
流動資産合計	115,267	141,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,229	26,457
土地	52,561	52,559
その他（純額）	18,200	20,745
有形固定資産合計	95,991	99,762
無形固定資産	357	3,182
投資その他の資産		
投資有価証券	41,051	59,231
その他	21,211	22,747
貸倒引当金	△1,504	△1,496
投資その他の資産合計	60,758	80,481
固定資産合計	157,108	183,426
資産合計	272,376	324,973

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,764	18,880
電子記録債務	2,871	2,067
短期借入金	11,008	30,645
未払法人税等	3,599	1,478
引当金	1,534	2,774
その他	13,263	15,936
流動負債合計	47,041	71,782
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	41,314	43,507
引当金	3,015	2,884
退職給付に係る負債	867	3,775
資産除去債務	244	246
その他	24,691	30,090
固定負債合計	75,133	85,504
負債合計	122,174	157,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	2
利益剰余金	83,312	85,732
自己株式	△275	△275
株主資本合計	111,246	113,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,105	31,572
繰延ヘッジ損益	115	△5
土地再評価差額金	2,506	2,510
為替換算調整勘定	4,016	4,095
退職給付に係る調整累計額	9,242	9,066
その他の包括利益累計額合計	35,986	47,238
非支配株主持分	2,967	6,781
純資産合計	150,201	167,686
負債純資産合計	272,376	324,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
売上高	48,592	60,220
売上原価	41,089	49,787
売上総利益	7,503	10,433
販売費及び一般管理費	5,042	6,533
営業利益	2,460	3,900
営業外収益		
受取配当金	347	341
持分法による投資利益	1,426	710
その他	170	228
営業外収益合計	1,944	1,279
営業外費用		
支払利息	130	198
休鉱山管理費	233	217
その他	126	149
営業外費用合計	490	565
経常利益	3,915	4,614
特別利益		
固定資産売却益	3	6
固定資産受贈益	2	—
特別利益合計	6	6
特別損失		
固定資産除売却損	16	14
特別損失合計	16	14
税金等調整前四半期純利益	3,904	4,606
法人税、住民税及び事業税	312	1,248
法人税等調整額	1,136	△774
法人税等合計	1,449	474
四半期純利益	2,455	4,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,403	4,041

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,455	4,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,175	11,466
繰延ヘッジ損益	△239	△119
為替換算調整勘定	△853	90
退職給付に係る調整額	△96	△176
持分法適用会社に対する持分相当額	3	7
その他の包括利益合計	989	11,267
四半期包括利益	3,444	15,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,451	15,293
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,240百万円	1,577百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	4,233	7,924	6,781	23,908	1,514	2,637
セグメント間の 内部売上高又は振替高	834	7	98	56	—	14
計	5,068	7,931	6,879	23,965	1,514	2,652
セグメント利益又は損失 (△)	336	764	150	864	22	192

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	552	47,553	1,039	48,592	—	48,592
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	1,013	549	1,563	△1,563	—
計	554	48,566	1,589	50,156	△1,563	48,592
セグメント利益又は損失 (△)	203	2,533	88	2,621	△161	2,460

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
当期償却額	—	0	2	—	—	—
当期末残高	—	18	6	—	—	—

	報告セグメント		その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産	計				
当期償却額	—	2	—	2	—	2
当期末残高	—	24	—	24	—	24

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	ロックドリル	ユニック	アーステクニカ	金属	電子	化成品
売上高							
外部顧客への売上高	3,445	9,306	7,091	4,617	28,541	2,036	3,504
セグメント間の 内部売上高又は振替高	960	3	92	0	74	—	15
計	4,405	9,309	7,184	4,617	28,615	2,036	3,519
セグメント利益又は損失 (△)	162	602	495	153	1,719	264	495

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	641	59,184	1,036	60,220	—	60,220
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	1,148	558	1,706	△1,706	—
計	643	60,332	1,594	61,927	△1,706	60,220
セグメント利益又は損失 (△)	280	4,174	58	4,232	△332	3,900

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△332百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△336百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない株式取得関連費用及び「金属鉱山跡資産」・「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	ロックドリル	ユニック	アーステクニカ	金属	電子	化成品
当期償却額	—	0	1	—	—	—	—
当期末残高	—	14	—	0	—	—	—

	報告セグメント		その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産	計				
当期償却額	—	2	—	2	44	46
当期末残高	—	15	—	15	1,381	1,396

(注) 「調整額」の金額は、連結子会社である株式会社アーステクニカの株式を取得したときに生じたのれんに係るものであります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配賦方法を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦方法に基づき作成した数値を記載しております。

2027年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2026年8月13日
古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	18,939	24,460	5,521
産業機械部門	4,233	3,445	△787
ロックドリル部門	7,924	9,306	1,382
ユニック部門	6,781	7,091	309
アーステクニカ部門	—	4,617	4,617
素材事業	28,061	34,081	6,020
金属部門	23,908	28,541	4,632
電子部門	1,514	2,036	521
化成品部門	2,637	3,504	866
不動産事業	552	641	88
その他	1,039	1,036	△3
【合計】	48,592	60,220	11,627

2027年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
51,700	10,257	109,900	25,643
7,400	△2,133	18,900	631
20,400	2,977	38,600	2,175
14,700	213	31,200	1,636
9,200	9,200	21,200	21,200
71,300	18,219	142,700	22,319
60,400	15,716	122,300	19,232
4,000	809	8,300	1,346
6,900	1,693	12,100	1,740
1,200	89	2,400	171
2,000	△1	4,000	△215
126,200	28,564	259,000	47,918

〔営業利益〕

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	1,251	1,413	162
産業機械部門	336	162	△173
ロックドリル部門	764	602	△162
ユニック部門	150	495	344
アーステクニカ部門	—	153	153
素材事業	1,078	2,480	1,401
金属部門	864	1,719	855
電子部門	22	264	242
化成品部門	192	495	303
不動産事業	203	280	76
その他	88	58	△29
(計)	2,621	4,232	1,610
調整額	△161	△332	△170
【合計】	2,460	3,900	1,439

2027年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
3,000	716	8,000	2,039
300	△243	1,800	129
2,000	612	3,200	294
400	47	1,700	315
300	300	1,300	1,300
2,700	958	3,200	△1,843
1,500	271	1,200	△2,614
400	293	900	524
800	392	1,100	246
500	84	600	△79
100	△18	200	△121
6,300	1,741	12,000	△5
△700	△349	△2,000	△1,293
5,600	1,391	10,000	△1,299

〔為替・金属価格〕

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	対前年同期増減
為替 円/\$	144.6	159.5	14.9
銅価 \$/mt	9,519	13,324	3,805
金価 \$/oz	3,280	4,516	1,236

2027年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
157.3	11.3	156.1	5.3
13,162	3,507	13,081	2,265
4,258	891	4,129	190

※参考情報（以下の数値は参考値です）

1. 産業機械部門、アーステクニカ部門の受注残

産業機械部門、アーステクニカ部門については主に受注生産を行っており、当第1四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2026年3月期 第1四半期会計期間末	2027年3月期 第1四半期会計期間末	対前年同期増減
産業機械部門	86億円	121億円	35億円
アーステクニカ部門	—億円	197億円	—億円

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2026年3月期 第1四半期累計期間	2027年3月期 第1四半期累計期間	対前年同期増減
営業利益	8.6億円	17.1億円	8.5億円
内価格影響分	9.1億円	12.5億円	3.3億円
銅	(1.4億円)	(11.1億円)	(9.6億円)
金	(7.5億円)	(0.4億円)	(△7.0億円)